

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |                   |            |  |
|---------|-------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 3390200560        |            |  |
| 法人名     | 医療法人 養命会          |            |  |
| 事業所名    | グループホーム 養命荘       |            |  |
| 所在地     | 岡山県倉敷市福田町福田2374-5 |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成29年1月20日        | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaijokensaku_ip/33/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyoVoCd=3390200560-00&amp;PrefCd=33&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku_ip/33/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyoVoCd=3390200560-00&amp;PrefCd=33&amp;VersionCd=022</a> |
|----------|---|

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|       |                        |  |  |
|-------|------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社東京リーガルマインド 岡山支社    |  |  |
| 所在地   | 岡山県岡山市北区本町10-22 本町ビル3階 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成29年1月27日             |  |  |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

「良い職場環境は良いサービスを提供する一歩です。優しさを持って心あるサービスの提供を心掛けていきたいと思います」の事業所理念のもとに、入居者の皆様やご家族様が「養命荘にいてよかった」と思っただけりよう職員一同、日々努力しています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

先代が経営していた病院を移転する際、地域の人にとっての頼れる先を残す為に、診療所とグループホームを設立した。設立の際に協力してくれた民生委員が、運営推進会議の一員として、現在も地域との橋渡しをしてきている。例えば、大量に出るダンボールの処理に困った際には、隣の子供会に声掛けしてくれ、廃品回収に取りに来てもらえることとなった。さらに、災害時に備えて、避難誘導協力者を探してくれている。事業所と地域がつながりながら、利用者の暮らしを支えている。毎年、利用者の写真付き年賀葉書を家族に郵送している。送る家族が複数の場合、全て違う写真を使うようにしている。家族は互いに見せ合い、話題の提供ともなっている。この気遣いに家族は大変感謝している。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |   |                       |   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|--------------------|-----|---|--|--|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |  |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 事務室に事業所の基本理念・職場理念を提示し、職員全員が理念を実践出来るように努力しています。   | 理念である「感謝と笑顔を大切に利用者様の尊厳の保障を実行」を実践してる。例えば、利用者が落ち込んでいる時には寄り添ったり、気まずい雰囲気を感じた際は、管理者が現場に入り和ませたり等、笑顔を絶やさない事業所を目指している。 |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 地域の廃品回収など子供会行事への参加。<br>また、地域の方にあつた時は挨拶をしたり、小学校の通学路になっているので下校時の見守りや挨拶をおこなっています。         | 事業所は小学校の通学路の途中に在る為、登下校の際は挨拶をしたり、トイレを貸したりしている。さらに小学生が通知表を見せにも来てくれる。畑に何も植えていないのに気づくと、隣人が苗をくれたりもする。               |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 雑誌・ダンボールなど、廃品回収の資源の提供をしています。   |  |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | ボランティアの紹介・地域の行事・野菜作りなどのアドバイスを任せてもらう。<br>今の現状や取り組み等の報告を行い、そこでの意見を今後の活動に取り入れていくようにしています。 | 相談事があれば、運営推進会議の議題に挙げている。ダンボール箱の処理に困った際は、子供会の廃品回収に声を掛けてくれた。また利用者が行方不明になった際の捜索方法も一緒に考えてくれ、サービス向上に繋げている。          |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 事業所運営で分からないことがあれば適宜相談しアドバイスも受けています。  | 少しでも何か疑問が生じたら、直ぐに市の担当者に連絡したり、出向いたりし、アドバイスを受けている。日頃から密に連絡をしている為、相談事項にも実直に対応してもらえる関係が出来ている。                      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束に関する研修を勉強会として行っている。欠席者には、後日レポートを提出してもらっている。また、日中は玄関に鍵をかけずに自由に出入り出来る環境にしています。       | 身体拘束をしないケアを正しく理解していないと感じ、基礎から学び直す勉強会を実施している。普段の支援内容で、「拘束に該当するかも」と思った際は直ぐに市の担当者に確認し、「身体拘束をしないケアの実践」に努めている。      |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている                                       | 虐待の防止を徹底する為、研修会等を行っています。   |  |                   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 現在は、制度を利用している方はいないが日常生活自立支援事業や成年後見人制度については、研修会を行っています。                          |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 重要事項説明書で説明を行い納得いただいた上でサービスを利用させていただいております。ご本人様・ご家族様のご希望・要望を聞いています。              |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 苦情窓口は作っているが意見や苦情はほとんど寄せられていません。   | 利用者や家族の要望は出来る限り運営に反映させている。毎年もちつき大会に参加し、楽しみにしている利用者もいる。しかし、もちつきでノロウイルスを原因とする食中毒が全国で起こっていると聞き、職員の一存で不参加を決めるのではなく、利用者と参加するかどうかを相談し決めた。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 適宜、全体ミーティングやユニットミーティングを行い職場の意見が反映出来るようにしています。また、申し送りノートを活用しています。                | 職員の意見は出来る限り取り入れている。去年R1ヨーグルトがインフルエンザ予防に最適と聞き、利用者に提供したいとの要望が出て実施している。また、「外出時に利用者を留守番させるのは嫌だ」との意見から、全員で外出している。                        |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 代表者には、毎日管理者が日々の業務・入居者様の様子・職員の勤務状況などを報告し理解を得ています。また、定期的に事業所へ訪問し職員や入居者様の様子を見ています。 |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 外部研修の案内を掲示板に張り出し、希望者が参加出来るようにしています。また、代表者からの指示で参加していただくこともあります。                 |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 毎月行われる他病院の勉強会に数名ずつ参加させていただいております。近隣の事業所と連絡を取り合い情報交換を行っています。                     |   |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |  |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居までにお会いする機会をもうけ、利用していただくにあたってのご本人様・ご家族様の思いや願いを聞き、安心して生活出来るよう努めています。   |  |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居後は、ご本人様及びご家族様との面会をしっかりと取れるよう声かけしています。                                |  |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 初めに知り得た情報・意見を基にご本人様・ご家族様の望むサービスは何かどんな支援が必要かを考え取り組んでいます。                |  |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 個々に出来る家事・仕事を見つけ、色々な役割を利用者様に担ってもらったり、家庭的な雰囲気・環境を大切にしています。               |  |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 面会時には、入居者様の様子をお伝えしご家族様の思いをお聞きしています。他病院の定期通院など、ご家族様にお願いしたりし協力してもらっています。 |  |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | ご家族様と一緒に外出しご自宅に帰ったり、お墓参りに行かれる方もおられます。また、ご友人が面会に来ていただけるよう声かけをしたりもします。   | 面会は多い。つい最近入所した利用者は、姪も子供連れでちよくちよく遊びに来てくれる。家族と協力し、墓参りに行ったり、経営していたみかん畑に出掛けたりもある。面会時に犬が車で待っていたのを見つけ、事業所内に上がってもらい、再会を喜んだ。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | ご利用者様同士の関係を把握し、座る場所など配慮しています。また、落ち着く場所が取れるようソファの配置なども考えています。           |  |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入院された場合でも、面会に行き関係を大切にしています。<br>ご家族様の希望に応じ退院後の支援もさせていただきます。    |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ご本人様の意思・決定を優先し、思いに耳を傾けるよう努めています。ご家族様の協力が必要な時は声掛けさせていただいております。 | 可能な限り利用者に寄り添い、希望の把握に努めている。趣味が草刈りの利用者には、一緒に事業所周辺の草抜きをする。家事が好きな利用者には、洗い物を任せる。外出が好きな利用者には、用事で出掛ける際は一緒に行く。         |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご家族様から、今までの生活歴・趣味などをお聞きし情報収集に努めています。                          |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 日々の生活の様子を介護記録に書き留め、様子の把握に努めています。                              |  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ミーティングの際、管理者・計画作成担当者・スタッフが集まり、利用者様の現状・ニーズを話し合い情報を共有しています。     | 半年毎にモニタリングを実施し、計画を見直している。計画作成者は、自分の考えを押し付けるのではなく、利用者に携わる職員の意見を組み入れたいと考え、全員の意向を確認してから、作成している。家族にも面会時に要望を確認している。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 介護記録に1日の情報をまとめ1枚で1日の様子が分かる様にしています。                            |  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | ご本人様の思いをお聞きし、ご家族様の協力が必要な時はお力もいただき思いが叶うよう頑張っております。             |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |  |
|----|------|---|---|--|--|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域の方に野菜の苗を頂き、指導頂きながら畑で野菜を育て収穫しています。                                   |  |  |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 週に一度の主治医の回診や看護師による健康チェックをしている。また、日々の生活の中で何か変化があれば主治医に相談し早期対応に心掛けています。 | 入所時にかかりつけ医の希望を確認している。協力医が往診に来てくれるので、安心面からほとんどの利用者が主治医を変更している。以前からのかかりつけ医を希望される利用者には、家族の協力を得ながら継続支援をしている。 |  |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 現在、訪問看護は入っていませんが、定期的に当病院から看護師の訪問があり、状態の報告・相談が来ています。                   |  |  |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は、出来るだけ毎日面会にうかがいご家族様や病院関係者と情報交換を行っています。                            |  |  |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 入院時や入院等し体調に変化があった際には、ご家族様に説明しその後の対応について、主治医や代表者も含め説明し理解を得ています。        | 現在看取りは実施していない。入居時に、重度化した場合は主治医と相談し、他施設へ転居してもらう旨を伝えている。家族も事業所で暮らし続けることを希望しているので、出来る限りの対応に努めたいと考えている。      |  |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 緊急時の対応についてのマニュアルを作成しています。<br>年間研修に取り入れ訓練をしています。                       |  |  |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 防災対策マニュアルを作成しています。<br>運営推進会議等で話し合い、ご近所のご協力いただける方も考えています。              | 夜間は職員が2名体制の為、近隣の方に挨拶を兼ねて協力を依頼したが、高齢のため自分達の事で手一杯と言われた。そこで運営推進会議時に、誰か協力出来そうな人は居ないかと相談している。                 | 災害のマニュアルをそれぞれに作成した方が良いと聞き、現在作成中である。マニュアルに沿った避難訓練の実施が実現することを期待する。 |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |   |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | お一人お一人の尊厳を大切に声掛けが出来るように心掛けています。   | 管理者は、職員のペースを押し付けるのではなく利用者のタイミングに合わせた声掛けを指導している。往診の際、利用者が診察室に直ぐ入りたがっても、他の方が診察中は外で待ってもらっている。                          |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 日々の生活のなかで、ご本人様のご自分の思いが表せるような声掛けを行っています。   |   |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご本人様のペースで生活を送ってもらっており、職員の都合でそのペースを崩すことはありません。                                   |   |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | その日着る服は、ご本人様のに選んでいただくなど季節に合った身だしなみができるように声掛けさせていただいております。                       |   |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | お料理カードを使い一緒に献立を考えたり、食べたいものを聞いて献立を考えたりしています。<br>ご自分の担当のように炒め物・食器洗いなどお力を発揮されています。 | 料理番組で作っている料理が食べたいと利用者が言えば、メニューに取り入れている。誕生日はメッセージ入りのチョコとローソクが飾られたケーキをワンホール購入している。誕生日が一緒の夫婦には、それぞれケーキを購入し、家族からも感激された。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 食事量は個別に確認しチェック表に記入しています。<br>食事が進まない方に対しては、形態を変えるなどの工夫をさせていただいております。             |   |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 食後の口腔ケアを毎食後行い、出来ない方については介助を行っています。<br>訪問歯科診療を受け指導・ケアを行っています。                    |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|--|---|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                             | 排泄チェック表を使用し声掛け、トイレ誘導を行っています。<br>個々の排泄パターンを把握・情報交換出来るようにしています。                             | 利用者一人ひとりの状況に合わせて排泄支援をしている。座位や立位が取れない利用者も訴えがあれば、二人介助でトイレでの排泄に努めている。  |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる   | 適度な運動・水分補給を行い、食事面の工夫もしながら出来るだけ自然に排便出来るようにしています。   |   |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                            | お一人おひとりの希望を聞いて湯の温度を変えたり入浴剤を使用したりして雰囲気を変えながら入浴が楽しめるよう支援しています。                              | 浴室は大きな窓が設置され、湯船に浸かると遠くの山を眺めながら寛ぐ事が出来る。さらに景色を楽しんで欲しいと考え、職員が自宅にあるバラの植木を持参してくれた。毎回湯を入れ直し、気持ち良く浸かってもらっている。            |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | 身体の疲れやすい方・疲れた様子が見られる方は、横になり休んでいただいたりしています。<br>夜眠りにくい方は、主治医と相談し眠剤で調整をしている方もおられます。          |   |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | 職員全員が個々に処方されている服薬について理解しています。また、新しく処方があった際は様子をよく観察し主治医に報告・相談しています。                        |   |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                            | ご本人の思いに沿った外出の計画をたてています。<br>月に一回程度の行事を行い楽しみの持てる生活を支援いたします。                                 |   |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 気候の良い時期はご近所を散歩し、とれたて野菜をいただいたり果物を収穫させていただいています。また、ご家族様に協力をいただき施設では提供出来ない物を食べに外食される方もおられます。 | 利用者の私物を購入する際は、一緒に出掛けて選んでもらっている。外出好きの利用者には、その際も連れ出している。雑煮が好きな利用者には、安全面から餅の提供が事業所では難しい為、家族に相談し、餅入り雑煮を食べる機会を設けてもらった。 |                   |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|--|---|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 預り金として事業所として管理し、欲しいものがあればご家族様に相談し職員と一緒に買い物に行きます。                                      |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | ハガキや手紙のやり取りは自由に自由に出て来るよう支援しています。<br>電話も要望があれば電話をかけることもあります。<br>年賀状を大切な人に出せるよう支援しています。 |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ユニット間の交流が盛んで玄関には行事ごとの写真を飾り季節を感じていただけるようしています。   | 南に面した大きな窓は開放感がある。景色が見渡せる場所にソファが置かれ、利用者は目の前の山並みや空を眺めるのを楽しんでいる。日光浴が好きな利用者の為に、ゆったりと座れる大きめの椅子を窓際に置いている。マッサージチェアは利用者から好評で、仲良く利用している。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | フロアにソファ・マッサージチェアなど置き、くつろいでいただいております。  |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | ご自宅で使用されていた家具・なじみのある思い出の物などを持って来ていただき、家庭的な雰囲気になるように工夫しています。                           | 寂しくないようにと家族がぬいぐるみを沢山持ち込んでいる居室を見て、他の利用者も職員が持ち込んだぬいぐるみを居室に置いて可愛がっている。孫と遊ぶ為のおもちゃを置いている利用者もいた。                                      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | お一人おひとりの残存機能が活かせるよう、また出来ることが増えるよう支援していきます。  |   |                   |

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                   |            |  |
|---------|-------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 3390200560        |            |  |
| 法人名     | 医療法人 養命会          |            |  |
| 事業所名    | グループホーム 養命荘       |            |  |
| 所在地     | 岡山県倉敷市福田町福田2374-5 |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成29年1月20日        | 評価結果市町村受理日 |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

|   |
|---|
| <p>「良い職場環境は良いサービスを提供する一歩です。優しさを持って心あるサービスの提供を心掛けていきましょう」の事業所理念のもとに、入居者の皆様やご家族様が「養命荘にいてよかった」と思っただけりよう職員一同、日々努力しています。</p> |
|---|

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaijokensaku.jp/33/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JiyouvoCd=3390200560-00&amp;PrefCd=33&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/33/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JiyouvoCd=3390200560-00&amp;PrefCd=33&amp;VersionCd=022</a> |
|----------|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|          |
|----------|
| <p> </p> |
|----------|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                        |  |  |
|-------|------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社東京リーガルマインド 岡山支社    |  |  |
| 所在地   | 岡山県岡山市北区本町10-22 本町ビル3階 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成29年1月27日             |  |  |

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |   |                       |   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|--------------------|-----|---|--|------|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |      |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 事務室に事業所の基本理念・職場理念を提示し、職員全員が理念を実践出来るように努力しています。   |      |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 地域の廃品回収など子供会行事への参加。<br>また、地域の方にあつた時は挨拶をしたり、小学校の通学路になっているので下校時の見守りや挨拶をおこなっています。         |      |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 雑誌・ダンボールなど、廃品回収の資源の提供をしています。   |      |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | ボランティアの紹介・地域の行事・野菜作りなどのアドバイスを行ってもらう。<br>今の現状や取り組み等の報告を行い、そこでの意見を今後の活動に取り入れていくようにしています。 |      |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 事業所運営で分からないことがあれば適宜相談しアドバイスも受けています。  |      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束に関する研修を勉強会として行っている。欠席者には、後日レポートを提出してもらっている。また、日中は玄関に鍵をかけずに自由に出入り出来る環境にしています。       |      |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 虐待の防止を徹底する為、研修会等を行っています。   |      |                   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|-----|--|---|------|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 現在は、制度を利用している方はいないが日常生活自立支援事業や成年後見人制度については、研修会を行っています。                          |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 重要事項説明書で説明を行い納得いただいた上でサービスを利用させていただいております。ご本人様・ご家族様のご希望・要望を聞いています。              |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 苦情窓口は作っているが意見や苦情はほとんど寄せられていません。   |      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 適宜、全体ミーティングやユニットミーティングを行い職場の意見が反映出来るようにしています。また、申し送りノートを活用しています。                |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 代表者には、毎日管理者が日々の業務・入居者様の様子・職員の勤務状況などを報告し理解を得ています。また、定期的に事業所へ訪問し職員や入居者様の様子を見ています。 |      |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 外部研修の案内を掲示板に張り出し、希望者が参加出来るようにしています。また、代表者からの指示で参加していただくこともあります。                 |      |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 毎月行われる他病院の勉強会に数名ずつ参加させていただいております。近隣の事業所と連絡を取り合い情報交換を行っています。                     |      |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------|-----|--|--|------|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |      |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居までにお会いする機会をもうけ、利用していただくにあたってのご本人様・ご家族様の思いや願いを聞き、安心して生活出来るよう努めています。   |      |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居後は、ご本人様及びご家族様との面会をしっかりと取れるよう声かけしています。                                |      |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 初めに知り得た情報・意見を基にご本人様・ご家族様の望むサービスは何かどんな支援が必要かを考え取り組んでいます。                |      |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 個々に出来る家事・仕事を見つけ、色々な役割を利用者様に担ってもらったり、家庭的な雰囲気・環境を大切にしています。               |      |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 面会時には、入居者様の様子をお伝えしご家族様の思いをお聞きしています。他病院の定期通院など、ご家族様にお願いしたりし協力してもらっています。 |      |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | ご家族様と一緒に外出しご自宅に帰ったり、お墓参りに行かれる方もおられます。また、ご友人が面会に来ていただけるよう声かけをしたりもします。   |      |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | ご利用者様同士の関係を把握し、座る場所など配慮しています。また、落ち着く場所が取れるようソファの配置なども考えています。           |      |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入院された場合でも、面会に行き関係を大切にしています。<br>ご家族様の希望に応じ退院後の支援もさせていただきます。    |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |      |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ご本人様の意思・決定を優先し、思いに耳を傾けるよう努めています。ご家族様の協力が必要な時は声掛けさせていただいております。 |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご家族様から、今までの生活歴・趣味などをお聞きし情報収集に努めています。                          |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 日々の生活の様子を介護記録に書き留め、様子の把握に努めています。                              |      |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ミーティングの際、管理者・計画作成担当者・スタッフが集まり、利用者様の現状・ニーズを話し合い情報を共有しています。     |      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 介護記録に1日の情報をまとめ1枚で1日の様子が分かる様にしています。                            |      |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | ご本人様の思いをお聞きし、ご家族様の協力が必要な時はお力もいただき思いが叶うよう頑張っております。             |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|---|---|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域の方に野菜の苗を頂き、指導頂きながら畑で野菜を育て収穫しています。                                   |      |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 週に一度の主治医の回診や看護師による健康チェックをしている。また、日々の生活の中で何か変化があれば主治医に相談し早期対応に心掛けています。 |      |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 現在、訪問看護は入っていませんが、定期的に当病院から看護師の訪問があり、状態の報告・相談が来ています。                   |      |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は、出来るだけ毎日面会にうかがいご家族様や病院関係者と情報交換を行っています。                            |      |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 入院時や入院等し体調に変化があった際には、ご家族様に説明しその後の対応について、主治医や代表者も含め説明し理解を得ています。        |      |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 緊急時の対応についてのマニュアルを作成しています。<br>年間研修に取り入れ訓練をしています。                       |      |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 防災対策マニュアルを作成しています。<br>運営推進会議等で話し合い、ご近所のご協力いただける方も考えています。              |      |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |      |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | お一人お一人の尊厳を大切に声掛けが出来るように心掛けています。   |      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 日々の生活のなかで、ご本人様のご自分の思いが表せるような声掛けを行っています。   |      |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご本人様のペースで生活を送ってもらっており、職員の都合でそのペースを崩すことはありません。                                   |      |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | その日着る服は、ご本人様のに選んでいただくなど季節に合った身だしなみ出来るように声掛けさせていただいております。                        |      |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | お料理カードを使い一緒に献立を考えたり、食べたいものを聞いて献立を考えたりしています。<br>ご自分の担当のように炒め物・食器洗いなどお力を発揮されています。 |      |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 食事量は個別に確認しチェック表に記入しています。<br>食事が進まない方に対しては、形態を変えるなどの工夫をさせていただいております。             |      |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 食後の口腔ケアを毎食後行い、出来ない方については介助を行っています。<br>訪問歯科診療を受け指導・ケアを行っています。                    |      |                   |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                             | 排泄チェック表を使用し声掛け、トイレ誘導を行っています。<br>個々の排泄パターンを把握・情報交換出来るようにしています。                             |      |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる   | 適度な運動・水分補給を行い、食事面の工夫もしながら出来るだけ自然に排便出来るようにしています。   |      |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                            | お一人おひとりの希望を聞いて湯の温度を変えたり入浴剤を使用したりして雰囲気を変えながら入浴が楽しめるよう支援しています。                              |      |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | 身体の疲れやすい方・疲れた様子が見られる方は、横になり休んでいただいたりしています。<br>夜眠りにくい方は、主治医と相談し眠剤で調整をしている方もおられます。          |      |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | 職員全員が個々に処方されている服薬について理解しています。また、新しく処方があった際は様子をよく観察し主治医に報告・相談しています。                        |      |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                            | ご本人の思いに沿った外出の計画をたてています。<br>月に一回程度の行事を行い楽しみの持てる生活を支援いたします。                                 |      |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 気候の良い時期はご近所を散歩し、とれたて野菜をいただいたり果物を収穫させていただいています。また、ご家族様に協力をいただき施設では提供出来ない物を食べに外食される方もおられます。 |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 預り金として事業所として管理し、欲しいものがあればご家族様に相談し職員と一緒に買い物に行きます。                                      |      |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | ハガキや手紙のやり取りは自由に自由に出て来るよう支援しています。<br>電話も要望があれば電話をかけることもあります。<br>年賀状を大切な人に出せるよう支援しています。 |      |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ユニット間の交流が盛んで玄関には行事ごとの写真を飾り季節を感じていただけるようしています。   |      |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | フロアーにソファー・マッサージチェアなど置き、くつろいでいただいております。  |      |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | ご自宅で使用されていた家具・なじみのある思い出の物などを持って来ていただき、家庭的な雰囲気になるように工夫しています。                           |      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | お一人おひとりの残存機能が活かせるよう、また出来ることが増えるよう支援していきます。  |      |                   |